

鶴見大学佛教文化研究所

紀 要

第 15 号

平成 22 年 4 月

鶴 見 大 学

BULLETIN of THE INSTITUTE OF BUDDHIST CULTURE TSURUMI UNIVERSITY

No. 15

April 2010

CONTENTS

IBC 2009 Open Symposium :

Jūzanki and the monastic development of Sōjiji Order:

An introduction to a precious material for studies of monastic
history and recent academic achievement

Opening Remark	KIMURA Kiyotaka... 1
<i>Jūzanki</i> : A historical record of the yearly rotation system of head priests in the Sōjiji Order	NŌDOMI Jōten... 3
A close analysis of <i>Jūzanki</i>	OZAKI Shōzen... 15
Panel Discussion	25
Open Discussion	32

Research Paper :

1. Study on Ruijumyogishou comparing The Sainenjibon
version with The Kanchiimbon Version — Presence of
Notes in Alternative Version — (2) KOBAYASHI Kyōji... 37
2. A Reprinting of the *Nanzen-Shingi* owned by Kyoto-Univ. (2)
..... OZAKI Shōzen... 61

Miscellanea :

IBC Constitution and Prospectus, Regulations, and Annual Reports of Activities	143
---	-----

published by
Tsurumi University
Yokohama, Japan

鶴見大学佛教文化研究所

紀 要

第 15 号

鶴 見 大 学

*題字
研究所顧問

直道

目次

〈公開シンポジウム〉『住山記』と總持寺教団の展開

— 教団史研究の一級資料・その紹介と研究の現状 —

挨拶	木村 清孝	1
輪住制度と『住山記』	納富 常天	3
『住山記』を読み解く	尾崎 正善	15
パネルディスカッションの部		25
質疑応答		32

論文

西念寺本類聚名義抄における増補と脱漏……………小林 恭治……………37

—異本注記の有無について—(二)

翻刻・京都大学文学部図書館蔵『南禅清規』(二)……………尾崎 正善……………61

《雜纂》

平成二十一年度 活動報告・研究所概要・研究所規程・購入資料・投稿規程……………143

編集後記

『仏教文化研究所紀要』第十五号をお届けします。本号には昨年六月に開催されたシンポジウム「『住山記』と總持寺教団の展開」についてその詳細を報告し、また二編の論文を掲載しています。公開シンポジウムでは、顧問の納富先生、兼任研究員の尾崎先生により、總持寺の教団史研究の第一級資料である『住山記』についてのご講演があり、その後、昨年四月より鶴見大学学長に就任された木村所長と司会の矢島主任とを交えたパネルディスカッションが行われました。

さて、大本山總持寺は明治四十四年に横浜市鶴見に御移転し、来年（平成二十三年）は御移転百周年の節目を迎えます。これを記念して様々な行事が開催されますが、当仏教文化研究所でも、昨年度に引き続いて本年六月に記念シンポジウムを予定しています。多くの方々のご来場をお待ちしています。

このほど、仏教文化研究所に専任研究員として池麗梅さんが入所されました。研究所のますます発展のために寄与されることと期待しています。

本号は橋本と下室によって編集がなされた。（下室記）

鶴見大学佛敎文化研究所紀要 第十五号

平成二十二年 四月 一日 印刷
平成二十二年 四月 八日 発行

編集人 矢島 道彦
発行人 木村 清孝

221
0013 横浜市神奈川区新子安一三五十

印刷所 株式会社 D-サイト
電・ 045 (439) 三四三三

発行所 鶴見大学

230
8501 横浜市鶴見区鶴見二一三
電・横浜 045 (581) 一〇〇一